

四国社会資本アーカイブスとは

社会資本は国民生活や経済産業活動に不可欠な基盤であり、四国の社会資本整備も時代毎に河川、道路、港など様々な分野で整備が行われて来ました。

先人たちのたゆまぬ努力や、住民の協力により整備された社会資本整備により、経済・産業活動の生産性や市民生活の向上が継続的にもたらされ、地域の発展に貢献してきました。四国クリエイト協会では、四国の社会資本に関する記録を整理、保存して、インターネットを通じて多くの人に利用して頂けるように情報提供することを目的に「四国社会資本アーカイブス」を開設いたしました。

取り扱う社会資本の範囲は、河川、道路、鉄道、港湾・空港、電力、その他（市街地開発、ため池、用水等）ですが、この都度の開示第一弾では明治以降の国施工の河川と道路に関する情報を公開します。

■社会資本に関する情報源

社会資本に関する記録は、事業主体の工事史・事業誌・記念誌や、地域の市町村史、郷土史等の文献資料にも収録されています。これら文献資料には事業の経緯や経過、事業内容、事業主体の苦勞、地域の人々の協力などが整理されていますので、時代を超えて幅広いさまざまな情報を入手することができます。事業主体に協力をお願いして資料を提供していただいたり、四国の公立図書館を訪ねて資料収集を行ってきました。

また、社会資本に関する記念碑や頌徳碑などが建立されていることもあります。碑文には、この地域が災害や交通などでどれほど苦勞した地域であったかなどが記され、その上で河川改修や道路整備などを記念して地域の人々が協力して建立したことや、構造物の建設に功績のあった人物を讃えて後世の人々が建立したことなどが刻まれています。できるだけ現地を訪れて、碑文等の情報を書き写したり、写真撮影を行ってきました。

四国社会資本アーカイブスでは、これらの構造物や文献資料、記念碑等から得られた情報を整理して、さらに写真や位置情報、関連情報を付け加えて、年表、国道ルート変遷図、主要事業の概要としてとりまとめています。今後はすべての対象事業について、物語の形式でも四国の社会資本に関する情報を提供します。

■四国社会資本アーカイブスでお伝えしたいこと

四国社会資本アーカイブスで、皆さんに3つのことをお伝えできればと考えています。

一つ目は、四国各地では時代ごとに河川、道路などさまざまな分野で社会資本整備が行われてきたということです。私たちが生活している基盤は、先人が長年にわたって努力、工夫して築いてきてくれた土台の上に成り立っています。

二つ目は、四国の社会資本整備には多くの人々がそれぞれの思いを持って関わってきたということです。二度と同じ災害が起こらないように、暮らしが少しでも良くなるようにと願って、事業主体や関係する人々が社会資本整備を進め、地域の人々は社会資本整備の推進を支援、協力するなど、多くの人に関わってきました。

三つ目は、四国の社会資本は地域の人々に有効に活用されることによって地域の発展に貢献してきたということです。社会資本は長期間にわたって継続的に住民生活の向上や産業活動の生産性の向上をもたらしてきましたが、その効果を地域の人々が有効に活用することによってはじめて地域の発展に結びついてきました。

四国社会資本アーカイブスが多くの皆様に活用され、四国の社会資本整備について人々の理解と共感を得るよう今後も記録を収集していきたいと考えています。